

②市が進める取組について

2. スマートシティプロジェクトについて

大阪府・富田林市では、ICT技術の活用による都市課題の解決等に向けて、「スマートシティ」の取組を推進しています。

「金剛地区」では・・・

スマホによるキャッシュレス決済の普及や、買物利便性向上、交流・賑わいの創出などを目的に、野菜無人販売所の設置、キッチンカーの出店を実施。(R3.11～)

野菜無人販売所の設置

- ∞KONROOM
- ※ 毎週水・木曜日

⇒ 継続して実施。地元産野菜の販路として確立。



キッチンカーの出店

- 第2集会所前広場
- ※ 毎週火曜日

⇒ R4.3一旦終了



- 参考：販売数
- 12月：60～80食
- 1月：10～30食

■ 参考：スマートシティの推進体制

大阪スマートシティパートナーズフォーラム = 大阪府、市町村、協力企業等で構成。

- ※ 本市では、3事業者と連携。
- 三井住友海上火災保険株式会社 (プロジェクトリーダー)
- 株式会社Mellow (キッチンカー)
- YACYBER株式会社 (野菜無人販売所)

● アンケート調査

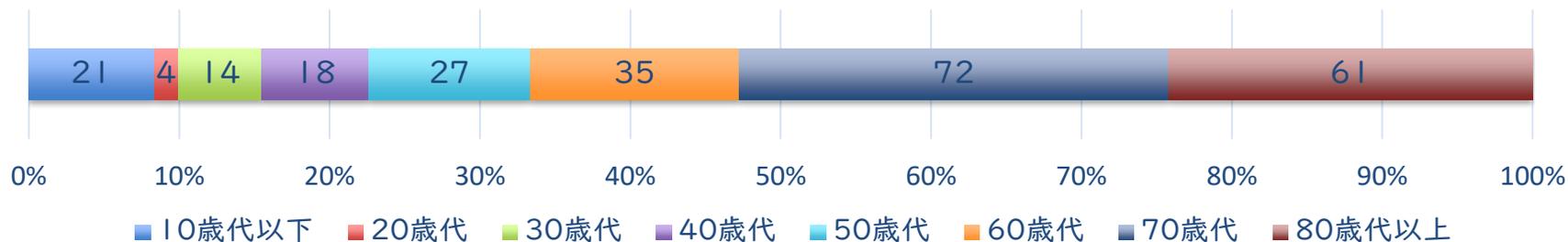
金剛地区住民の「野菜無人販売所、キッチンカーの利用」「買い物の実情」「スマホの保有、利用状況」を把握することを目的に、アンケート調査を実施しました。

とき R3.12月～R4.1月

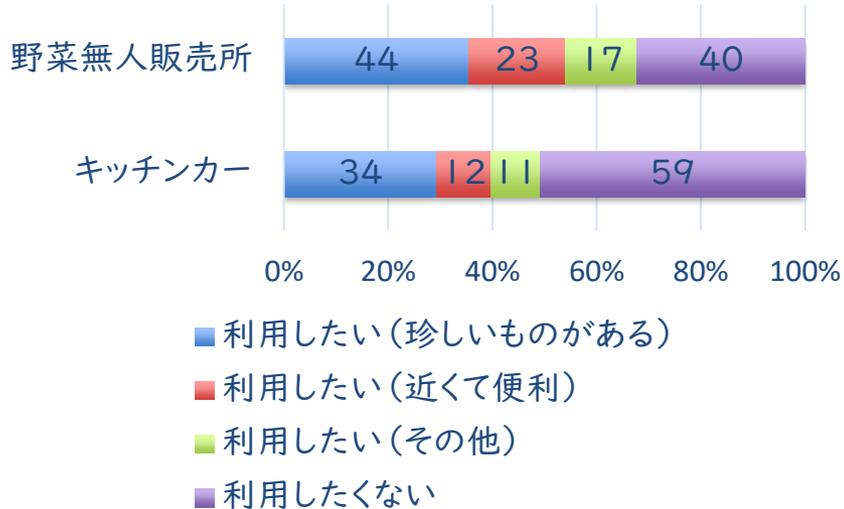
ところ 金剛地区内各所

回答者 118人

● 回答者の家族の年齢構成

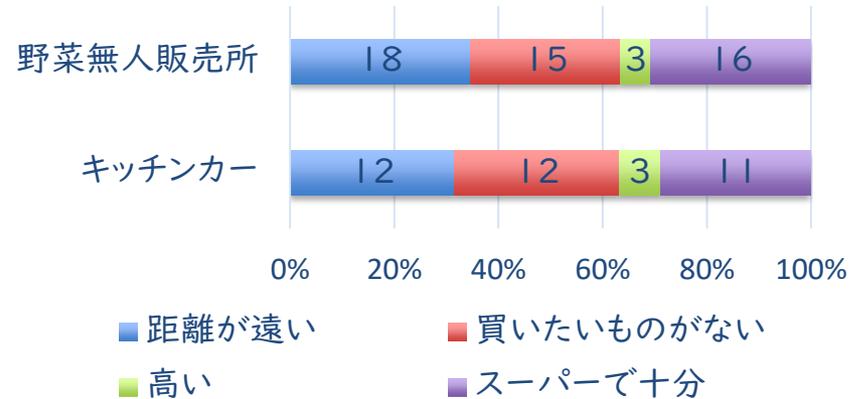


● サービスを利用してみたいですか？



● 利用したくない理由は？

※コンテンツのPRや
需要の検証等が必要



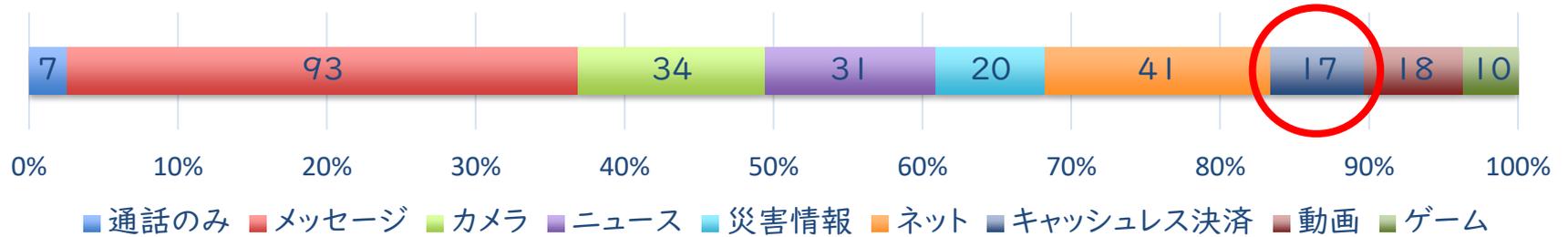
● 買い物の交通手段は？



● 買い物の困りごとは？



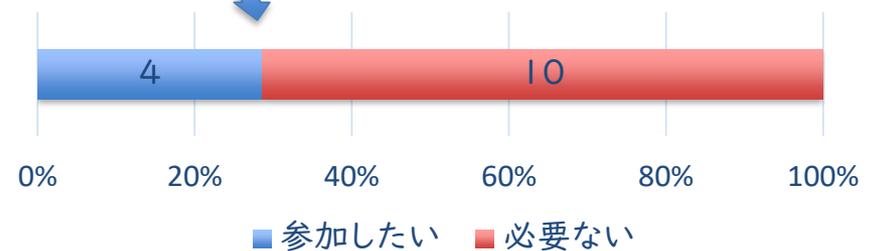
●利用しているスマホの機能は？



●家族のスマホ所有状況は？



●スマホ活用講座(無料)への参加意向は？



●アンケート調査 総括

- 地区の特徴として、住民に高齢者が多く、高齢者のみの家庭が多い。
※スマホを利用するハードルが高くなりがちである。
- 地区内には坂道が多くあるが、高齢者ほど徒歩で買い物に出掛けている。
※さらに高齢化が進むと、免許返納等により、この傾向が強くなると考えられる。
※買い物の困りごとについて、距離や持ち帰りに悩む声もあるため、
野菜無人販売所等のように、店側が住民に近づく考え方は重要である。
- スマホ機能のうち、キャッシュレス決済の利用者は10%前後。
※野菜無人販売所等におけるキャッシュレス決済の利用状況も、同程度である。

●R4年度の方角性

- ★買い物利便性の向上等に向けて、野菜無人販売所等の横展開を検討。
- ★ICT技術の普及促進に向けて、スマホ活用講座の実施を検討(わっくCafé)。